

AI活用推進対策 特別委員会資料

令和8年7月24日

商工観光労働部

目 次

(ページ番号)

I 製造業における取組等について

03-04

II 観光分野における取組等について

05-06

I 製造業における取組等について

企業振興課

1 現状

➤ 活用の現状

県内の中小企業の製造現場においては、AI等を活用した業務の自動化・省力化は、十分に進んでいない。

➤ 製造現場の特殊性

製造業は、企業ごとに取り扱う素材や加工技術が異なるため、各々の製造現場における課題を整理したうえで、AI等の活用方法を検討する必要がある。

2 AI等の導入に向けた課題

➤ 専門人材の不足

複雑なプログラムが必要なシステムに対応できる専門人材が社内に不足している。

➤ 費用対効果の低さ

県内企業に多い少量多品種の製造現場では、製品ごとにシステム構築が必要となるため、システムの投資回収が難しい。

➤ 学習工数が膨大

高精度なAI学習に必要な「大量のデータ収集」や「正解情報の付与」にかかる作業量が膨大であり、中小企業には人的負担が大きい。



【工業技術センターにおけるAIに関する研究】

製造現場における最終検査では、人による目視での検査が中心であることから、AIを活用した画像検査システムによって外観検査を自動化・省力化する研究を実施

I 製造業における取組等について

3 研究成果

製品の最終検査において、ネジの付け忘れを発見するためのAIを活用した簡易な外観検査システムを構築した。

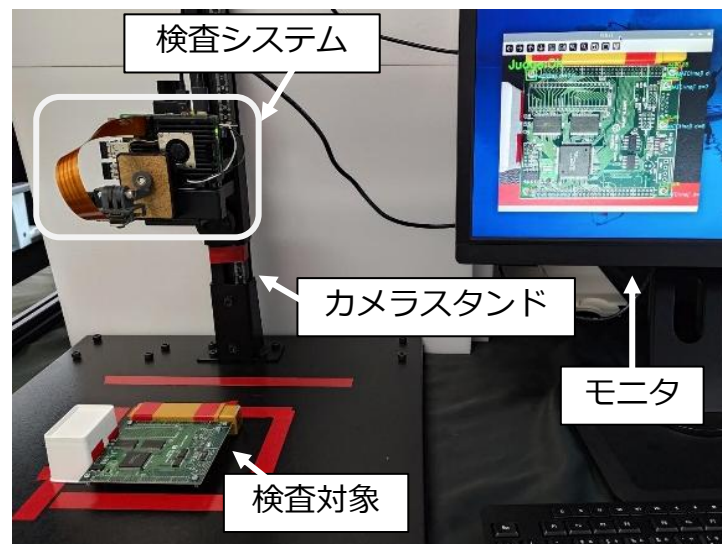
【システムの特徴】

(1) 学習工数の削減

独自の方法で学習用データを作成したことにより、従来手法と同等精度で学習工数を削減。

(2) 低コスト化

軽量のAIモデルの活用によって小型コンピュータが使用可能となり、安価な検査システムを構築。



4 今後の取組

- ・本研究により習得した簡易外観検査システムのノウハウを県内企業に提供し、企業ごとの検査内容に合わせたシステムの構築及び内製化を支援していく。
- ・外観検査に限らず技術的な課題を解決するため、AIを活用したシステムの研究を県内企業と共同で実施することにより、生産性の向上に寄与する。

Ⅱ 観光分野における取組等について

観光推進課

1 現状

➤ 観光関連事業者のデジタルの活用

宿泊事業者など観光関連事業者において人材不足が進む中、一部の事業者では自動チェックイン機や顧客管理システムの導入などDXの取組による業務の省力化・効率化が見受けられるが、十分には進んでいない。

➤ 観光客における旅行情報の収集や手配方法の変化

多くの観光客がWEBやSNS、AI等で旅行情報を収集し、OTA(インターネットによる旅行代理店)でチケット等を取得している。

➤ 観光情報の提供

デジタルによる情報提供が主流となる中、正確でタイムリーな迅速性のある情報提供が不可欠。

2 課題

➤ DXに取り組むための機器・設備導入の負担感

特に中小企業・小規模事業者においては、AI等を活用したDXに取り組む必要性を認識しつつも、初期投資への抵抗感や効果実感の不足などが導入の障壁となっている。

➤ 専門人材の確保やデジタルリテラシーを持つ人材の育成

DX推進を担う専門知識を持つ人材が観光協会や事業者に不足している。

➤ 観光客の利便性・体験価値の向上

個別ニーズに応じた情報提供や体験できる体制が十分に整っていない。

Ⅱ 観光分野における取組等について

3 県の取組

① 宿泊事業者に対するDX導入支援

宿泊事業者のDX導入に必要な経費(※)を補助
※支援内容（補助率2/3 補助上限500万円）

【令和7年度実績】

- ・ 支援件数：9件
- ・ 支援内容：自動チェックイン機、清掃連絡システム、顧客管理システム、ロボット掃除機など

② 観光DX人材の育成

県観光協会が実施する観光人材育成講座（県補助事業）において、観光業におけるデータ活用を学ぶ「観光DX」をカリキュラムの一つに設定。

【令和7年度実績】

- ・ 実施期間：令和7年8月6日～12月16日
- ・ 受講者数：43名
- ・ 主な内容：観光DX、マーケティング戦略など

③ AIチャットボットによる観光相談対応

県観光サイト「みやざき観光ナビ」及び多言語サイト「VISIT MIYAZAKI」にAIチャットボットを導入。

- ・ 期間：令和7年10月31日～
- ・ 言語：日本語、英語、韓国語、中国語など
- ・ 効果：累計約5,000人が利用。
観光サイト閲覧数は前年比で約3割増加。

④ AR技術を活用した観光ガイドシステム

「神話」にまつわる神社等のスポットにおいて、AR技術を活用した観光ガイドシステムを導入。

- ・ 場所：県内全40箇所
- ・ 期間：令和8年1月23日～3月31日
- ・ 内容：指定スポットを訪れて、専用サイトを開くと、観光ガイドを聞くことが可能。



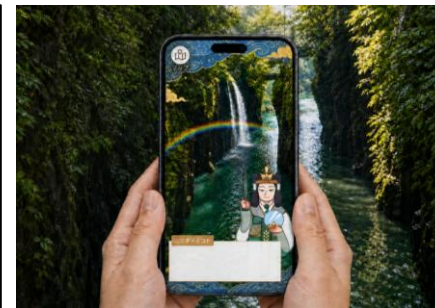
自動チェックイン機



観光人材育成講座



AIチャットボット



AR観光ガイド